

町田薬師池公園

四季彩の杜 魅力向上計画

～Ver. 2～ (案)



2023年8月

町田市



はじめに

町田薬師池公園四季彩の杜は、
観光施設や豊かな自然環境、歴史的資産を有した
広域なエリアの総称です。

この土地に流れる

時間・期間・季節・風景や独特の雰囲気・空気感

「やくしの時間」を体感し、

特別な日だけではなく、

普段でも立ち寄りたくなるような、

暮らしの中の彩りとなる居場所を

皆様とご一緒に作りあげます。

この計画では、2023年度から10年間の

大きな方向性・未来を示します。

目次

1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画とは	5
(1) 計画改定の背景.....	5
(2) 計画の目的.....	5
(3) 計画の期間.....	5
(4) 計画の対象.....	6
(5) 計画の位置づけ.....	7
2 現状と評価	8
(1) 魅力・ポテンシャル.....	8
(2) 前計画の方針ごとの成果.....	10
(3) ブランディングの成果.....	15
(4) 環境の変化による新たなニーズ.....	16
3 基本理念	17
これからの四季彩の杜で楽しむ四季折々のライフスタイル.....	18
春の資源とアクティビティ.....	20
夏の資源とアクティビティ.....	22
秋の資源とアクティビティ.....	24
冬の資源とアクティビティ.....	26
4 基本方針	28
(1) 基本方針.....	28
(2) 基本方針に対応する取組.....	29
(3) 基本方針の取組を展開する施設.....	42
(4) 取組の工程表.....	44
5 未来への継承	46
6 計画の推進体制	48
参考資料	50
(1) アンケート結果.....	50
(2) 計画の策定体制及び検討内容.....	63
(3) 施設概要.....	65

1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画とは

(1) 計画改定の背景

町田薬師池公園四季彩の杜（以下「四季彩の杜」という。）は、町田市を代表する公園である薬師池をはじめ、西園（ウェルカムゲート）、リス園、ぼたん園、ダリア園、七国山など、観光施設や豊かな自然環境、歴史的資産を有した市の中央部に位置する広域なエリアの総称です。

町田市では、四季彩の杜が“地域への愛着や誇りが醸成されるような観光拠点”となることを目指して、2014年6月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定し、これまで多くの事業を展開してきました。こうした取組の成果により、四季彩の杜全体の来園者数は毎年増加しており、2022年度は延べ134万人と過去最高の賑わいをみせています。特に、2020年4月に開園した西園は、市内外からも多くの方が訪れ、来訪者から高い満足度を得ています。

また、西園の開園とともに、ブランドロゴやブランド・アイデンティティを使った一体的なプロモーション活動をはじめとした四季彩の杜全体でのブランディングを本格的に展開しています。これにより来訪者の増加などの一定の成果がみられる一方で、アンケート調査では四季彩の杜の認知度不足等の課題が表れています。

2022年度にスタートした「まちだ未来づくりビジョン2040」^{※1}や「ゼロカーボンシティまちだ」^{※2}の実現、持続可能な世界を実現するための国際社会全体の開発目標（SDGs）^{※3}の達成に向けて、四季彩の杜がさらに魅力的なエリアとなるように、各関係主体が一体となり取り組む必要があります。

(2) 計画の目的

本計画は、エリア全体に賑わいを創出するとともに、効率的で効果的なエリア管理や運営を行うための、これからの四季彩の杜の方向性を示すことを目的とします。町田を代表する観光拠点として、市内外から多くの方が訪れる「町田のシンボル」となるエリアを目指します。

(3) 計画の期間

本計画の実施期間は2023年度から2032年度の10年間とします。

また、2033年度以降にも継承したい取組について「5 未来への継承」において記載していません。

※1 まちだ未来づくりビジョン 2040：2040年に向けて、誰もが夢を持ち、幸せを感じることができるまち、「なんだかんだ言っても、やっぱりまちだが一番」と思えるまちを目指すために、市民をはじめとした多くの人たちの声や思いからつくった町田市の基本構想・基本計画。

※2 ゼロカーボンシティまちだ：脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消の取組みを進め、温室効果ガス排出実質ゼロを目指す、環境先進都市をいう。

※3 SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。

(4) 計画の対象

本計画の対象は、四季彩の杜を構成する以下の施設とします。

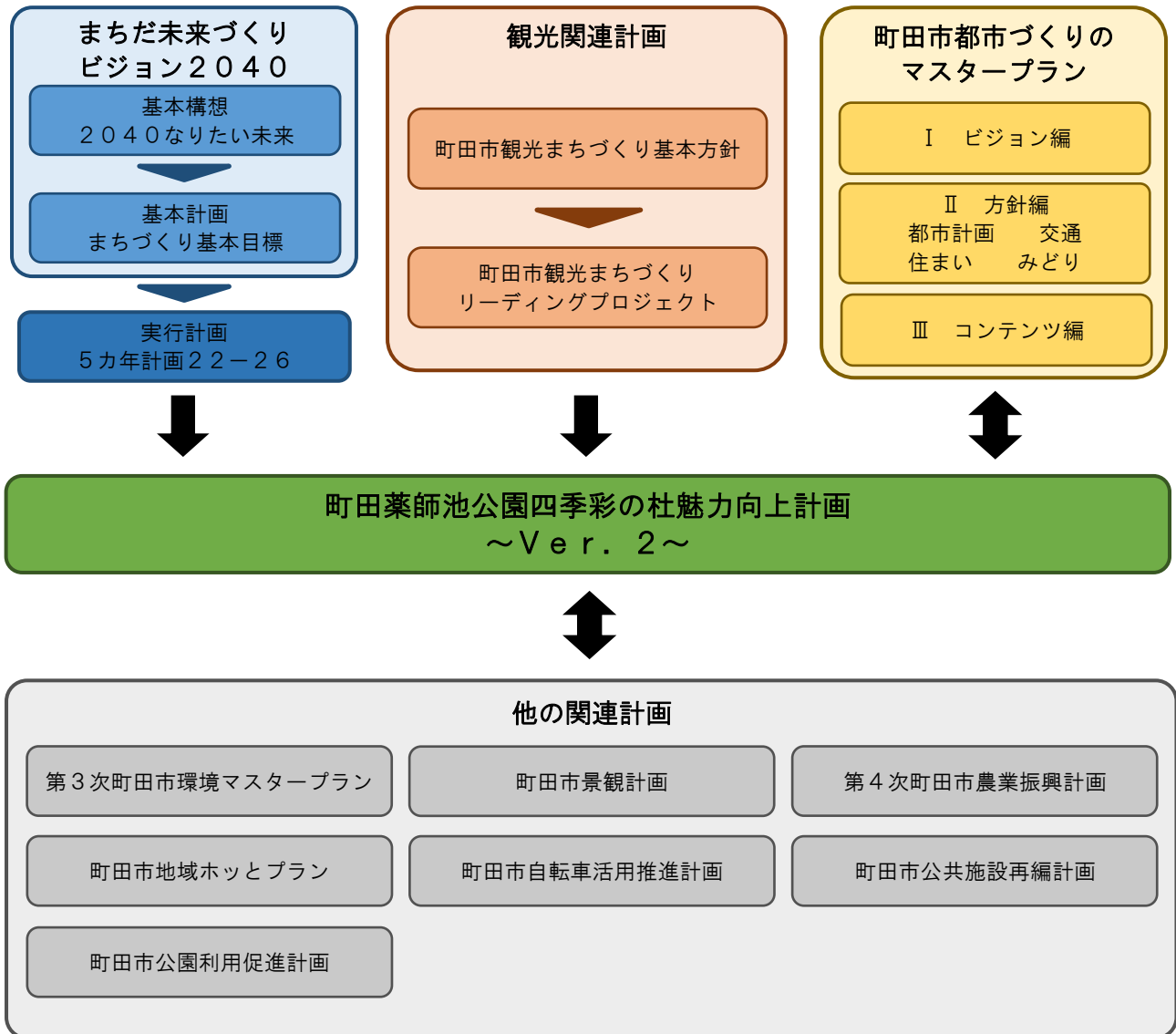
※本計画では、四季彩の杜全体を「エリア」、個々の施設や公園を「施設」という表現で統一します。（参考資料3.施設概要参照）

- ① 薬師池（町田市フォトサロンを含む）
- ② 西園（ウェルカムゲートを含む）
- ③ リス園
- ④ ぼたん園（民権の森緑地保全地域を含む）
- ⑤ 北園（七国山ファーマーズセンター、ふるさと農具館を含む）
- ⑥ 七国山
- ⑦ ダリア園
- ⑧ 南園（えびね苑を含む）



(5) 計画の位置づけ

本計画は、「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる“なりたいまちの姿”に至るための関連する政策（「政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる」、「政策8 思わず出歩きたくなるまちになる」）及び町田市観光まちづくり基本方針の施策（基本施策1 町田ならではの地域素材の洗い出し・磨き上げ）に対応します。また、町田市都市づくりのマスタープランについても対応するとともに、コンテンツ編の「まちづくり構想等」に位置づけます。さらに、他の関連計画との整合を図りながら事業を推進します。



2 現状と評価

(1) 魅力・ポテンシャル

● 四季折々の花

四季彩の杜では、薬師池のウメやツバキ、花しょうぶに加え、えびねやダリア、景観作物の菜の花やそばの花といった四季折々の美しい花々が咲き誇ります。現在も、花々の風景を楽しむ人や撮影を楽しむ人など多くの方が花々を目的に四季彩の杜を訪れています。



ツバキ

● 豊かな樹木や農耕地景観

薬師池周辺地域は、傾斜地や尾根部の一部にクヌギやコナラから構成される雑木林や杉・ヒノキ植林からなる樹林景観があります。

かつて、薪炭林として利用されていた樹木林をはじめ、現在も施設間に広がる農耕作地など、古くから人の手が入った自然と人の暮らしが一体となった里山の景観をつくり出しています。



豊かな樹林

● 町田の歴史の集積地

薬師池の由来と言われている野津田薬師堂が薬師池のそばに立地し、この地の歴史を伝える重要な要素となっています。エリア内には、寺社仏閣や、旧永井家住宅、旧荻野家住宅といった古民家、鎌倉古道とそれに由来した伝鎌倉井戸、石阪昌孝の墓などの自由民権運動に関連する歴史施設が分布しています。



野津田薬師堂

● 遊び・学びの場

西園では、「ラボ・体験工房」で様々なワークショップや講座「やくしの学び」が連日開催されています。



ラボ・体験工房

リス園は、放し飼い広場のリスをはじめとした小動物とふれあうことのできる楽しい遊びの場でありながら、「命の大切さ」を学ぶ場でもあります。



ふれあい体験

● 農産業と交流の場

四季彩の杜では、各所で地域の生産者の農産物などを販売しています。新鮮な農産物を心待ちにしているリピーターも多く、来訪者は時に生産者と言葉を交わしながら旬の農産物を購入することができます。

西園の直売所では、町田市名産品、酒類、手作りの器等、地域の魅力的な商品が集まる町田市のアンテナショップになっています。



やくしLOCALファーマーズマーケット

● 起伏にとんだ地形が生む独特の景色と

地形的連続性をもたらす回遊の楽しさ

丘陵の頂上部の標高は概ね100m～130m、谷部は概ね60m～70mとなっており、標高差は概ね30m～70mとなっています。丘陵の頂上部からは富士山が望めるほど眺望がよく、古くは七つの国が望めたほどでした。

この起伏にとんだ地形の中に公園等の多様な施設が連続的に広がり、移動した先の地点によって風景が変わることで、来訪者に飽きない体験を提供しています。



七国山からの展望

コラム

薬師池の成り立ちについて

薬師池は、福王寺谷と呼ばれる谷戸に湧き出る水を、堤で堰き止めてつくった溜め池で、明治時代頃まで溜め池のほとりにあった福王寺（現在の薬師堂）にちなみ、「福王寺池」「福王寺溜井」と呼ばれていました。いつごろ造られたのか、はっきりしませんが、一番古い時期を示している史料では、小田原北条氏の支配下にあった天正年間（1573-92）に造成されたとあります。

溜め池の面積は約2000坪で、溜め池の水は鶴見川方面に向かってひろがる約7ヘクタールの水田の農業用水として利用されました。

風水害などの自然災害により、たびたび溜め池が埋まる被害にも見舞われました。例えば、富士山の宝永噴火の際には、雨水などによって周辺に降った火山灰が流れ込み、十分な水が確保出来なくなりました。そのため大規模な溜井浚いが計画され、村びとをはじめ領主や他村の人びとの協力を得て工事がおこなわれました。こうした自然災害に幾度となく襲われながらも、村びとの生活を支えるため、そのたびに復旧工事をして維持してきました。

突起状になっているところには、かつて弁財天の祠があり、ところどころに松などが植えられるなど、単なる溜め池ではなく、早くから景観を意識した公園の役割を持った池であったとする研究もあります。



1817年の薬師池（絵図）

(2) 前計画の方針ごとの成果

2014年6月に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」では、基本コンセプトを『四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園』と設定しています。

そして、その基本コンセプトのもと7つの方針を定めています。下記の表は、その方針ごとの実施事業の実績を記載しています。

また、次ページ以降では7つの方針ごとに、事業による成果と現状の課題について、次のとおり整理します。

● 2014年策定「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」

基本コンセプト 四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園

方針		実施事業（実績）	
1	四季折々一年を通して楽しむことができる場	ソフト	春フェア、紅葉のライトアップ、こどもの日のイベント、ブルーベリー摘み取り、足湯体験など
		ハード	ラボ・体験工房の整備、ライブラリー・ラウンジの設置など
2	里山観光の拠点としての一体性の構築	ソフト	地域イメージアップイベントの開催、エリア内スタンプラリーの開催、ウォークツアーの開催など
		ハード	ウェルカムゲートの整備、四季彩の杜ホームページの開設など
3	施設個々の魅力向上と町田を発信するソフト事業の継続展開	ソフト	しょうぶ・あじさいまつり、観蓮会、二ホンリス展示ブースの設置、ダリアの名称公募、地域回遊イベントの実施など
		ハード	カフェ・レストラン、直売所の設置、池水浄化システムの整備、歴史案内板の設置など
4	地域へのアクセス、施設間のスムーズな回遊性の実現	ソフト	公共交通利用の啓発、施設間巡回バスの運行など
		ハード	エリア内サインの設置、シェアサイクルポートの設置、連節バスの試験運行など
5	利用の核となる拠点の整備	ソフト	町田市観光コンベンション協会との協働
		ハード	ウェルカムゲート整備、西園前バス停の整備など
6	町田市民の参加・交流による相乗効果の醸成	ソフト	農体験、菜種油しぼり体験、各施設が連携したイベントの開催、観光案内人養成講座など
		ハード	農の体験施設整備など
7	里山景観・眺望、みどりを活かした地域づくり	ソフト	山野草観察会、ダリアガイドツアーなど
		ハード	自然観察路整備など



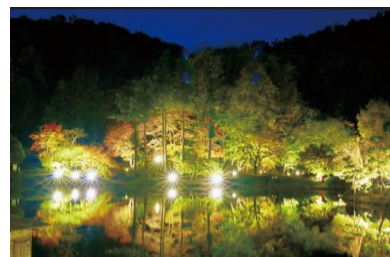
各方針の事業による成果と現状の課題（次ページに続く）

※ソフト：ソフト事業（イベントやサービス等）ハード：ハード事業（施設整備等）

1. 四季折々一年を通して楽しむことができる場

事業による成果

- ・草花を中心に四季を楽しむための選択枝は増え、一年を通して楽しめる場の提供が進んでいます。2022年度の各月平均の来園者は前年度から約5,500人増加しています。
- ・西園の開園により、年間来訪者数は増加傾向にあり、2022年度は134万人となりました。
- ・子ども向けイベントによって親子連れの来訪が増えています。ライブラリー・ラウンジや、オープンキッチン付きのフリースペースであるラボ・体験工房を設置しました。



紅葉まつり

現状の課題

- 【課題1】四季を通じて花やみどりがさらに楽しめるよう草花を計画的に配置する必要があります。来訪者がいつ来ても見どころがあるよう、施設全体で開花時期を考慮して花を配置します。併せて、既存の木々や草花も、適切に植栽管理する必要があります。
- 【課題2】何度でも訪れたいくなるような好循環を生み出す場を提供する必要があります。2022年度に実施した施設利用者アンケート（以降、「利用者アンケート」）の結果、年2回以上来園するリピーターは全体の54%と低い結果となっています。
- 【課題3】子どもを対象とした場の整備やイベントのさらなる充実が望まれます。利用者アンケートの結果、購買施設のほか、「自然を活かしたフォレストアドベンチャー」や「子どもを中心とした遊具や遊び場」などの割合が高くなっています。

2. 里山観光の拠点としての一体性の構築

事業による成果

- ・総合案内所の設置や、ホームページ・SNSの開設により、情報発信拠点ができました。ホームページやInstagram、動画配信を通じて情報発信を行っています。
- ・四季彩の杜の各施設運営者や町田市観光コンベンション協会、町田市で構成する施設運営連絡協議会の開催により、情報共有や連携イベント実施など一体性が構築されつつあります。



インフォメーション

現状の課題

- 【課題1】総合案内所機能をさらに強化し、四季の見どころや来訪者ニーズを踏まえた情報などの継続した提供が必要です。来訪者が増加した西園への来訪を契機とし、他施設への来訪者を増やすため、観光拠点としてのブランド力向上に取り組んでいきます。
- 【課題2】エリア内を巡るために各施設が連携し、ホームページやSNSを用いて一体性をもった情報を継続的に発信する必要があります。利用者アンケートの結果、四季彩の杜の名称を知らない人が全体の約47%、また、1つの施設しか利用していない割合は約22%でした。施設運営連絡協議会の立ち上げにより各施設間の連携は強化しましたが、一体的なプロモーションなど運用には課題が残っています。

3. 施設個々の魅力向上と町田を発信する ソフト事業の継続展開

事業による成果

- ・西園の「カフェ・レストラン」や「直売所」は、2021年度には12万人以上が利用しており、好評です。また、定期的に行っているファーマーズマーケットも人気が高いイベントです。
- ・施設間連携イベントや各施設で特色あるイベントを実施し、積極的な情報発信を行うことで、メディアなどで取り上げられる機会が増え新たな顧客が来訪しています。



地域回遊イベントのポスター

現状の課題

- 【課題1】 好事例を分析し、他の施設への改善につなげていく必要があります。利用者アンケートでは、充実してほしい設備や機能について、「屋内外の休めるところ(カフェ、ベンチ等)」や「食事ができる場所(レストラン等)」の割合が高いです。
- 【課題2】 既存施設の魅力を向上するために、**施設の老朽化や新たなコンテンツの提供**などに対応する必要があります。薬師池やリス園など集客力の高い施設の老朽化が進んでおり、改善が必要です。また、ダリア園では利用者アンケートから「写真撮影スポット」の要望も多い傾向であり、新たなコンテンツとなる可能性があります。
- 【課題3】 地域の自然や文化、歴史などの特色を活かしたテーマ性のあるイベントによって、**幅広いニーズに合う事業**を行う必要があります。また、七国山には「鎌倉古道」、ぼたん園には自由民権運動にまつわる記念碑といった様々な地域の歴史的遺産が点在しています。これらを有効的に活用する必要があります。

4. 地域へのアクセス、施設間のスムーズな回遊性の実現

事業による成果

- ・西園駐車場の整備により、エリアへのアクセスの選択肢が増えました。また、入庫レーンの設置により、西園駐車場へのスムーズな入庫につながっています。
- ・エリア内サインの設置により、エリア内移動のための利便性向上を図りました。
- ・シェアサイクルの設置により、エリア内を回遊するための選択肢が増えました。
- ・連節バスの乗り入れも可能なバスベイが西園前に整備され、イベント開催時に連節バスを運行させるなど、渋滞緩和と公共交通機関の利便性の向上につながっています。



連節バス

現状の課題

- 【課題1】 ハイ・シーズン時の渋滞解消のため、鎌倉街道の整備とあわせて、駅からの案内の充実や公共交通機関の利用促進、**公共交通機関の利便性の向上**が必要です。また、必要に応じて臨時駐車場のスペース確保等の検討が必要です。
- 【課題2】 エリア内のさらなる**回遊性向上**のため、移動しやすさ、案内のわかりやすさが必要です。バスベイが整備され利便性が向上した一方、鶴川方面からの利用し易さや、鎌倉街道を横断する歩行者の安全確保の為の案内についても必要となっています。

5. 利用の核となる拠点の整備

事業による成果

- ・ 総合案内所機能を備えた西園の開園によって、利用の核となる拠点ができました。西園の年間来場者数は四季彩の杜全体の来場者数に対し、約50%を占めています。
- ・ 西園前のバスベイの整備により、ウェルカムゲートへの利便性が向上しました。町田駅発着の一般路線に加え、臨時便の連節バスの停車も可能になりました。



ウェルカムゲート

現状の課題

- 【課題1】 エリア内の情報を一括で得られる拠点として総合案内所機能を強化、継続していく必要があります。総合案内所へ各施設の開花状況や駐車場の情報などの問い合わせが多数寄せられています。また、利用者からホームページがわかりづらいとの声があります。常時、最新情報を集約し、総合案内所の体制を整えるとともに、わかりやすくインターネット上で公開する必要があります。
- 【課題2】 利用者の多い町田駅などターミナル駅での周知活動が求められます。エリア外での情報発信を、町田市観光コンベンション協会と連携して強化していく必要があります。

6. 町田市民の参加・交流による相乗効果の醸成

事業による成果

- ・ 西園で開催される様々な講座「やくしの学び」や農体験などによって、市民参加や交流が行われています。多彩なイベントがほぼ毎日開催されており、リピーターも多く人気となっています。
- ・ 町田市観光コンベンション協会が地域ガイドの補強のために、観光案内人養成講座を行っています。2022年9月、「まちだ観光案内人」が新たに17名誕生しました。薬師池の花しょうぶ・あじさいの案内ガイドや紅葉まつり、ぼたん園のガイドなどで活躍しています。



花しょうぶガイド

現状の課題

- 【課題1】 地域と連携したイベントを継続していく必要があります。「まちだ観光案内人」が四季ごとに草花の魅力を伝えることで、リピーターの獲得につなげていきます。また、多くの観光客が訪れる時期の需要に応えられる、観光案内人の育成を継続していきます。
- 【課題2】 市内で活動している個人や団体のエリアへの参加の働きかけが必要です。西園のラボ・体験工房は、会議や地域の集会などで利用されています。今後さらに周知を行い、地域活動参加へのきっかけの場となることを目指します。

7. 里山景観・眺望、みどりを活かした地域づくり

事業による成果

- ・ 菜の花やそばの花といった景観作物を計画的に栽培し、季節ごとに魅力的な景観を生み出しています。多くの人が散策や眺望の良い景観を求め、訪問しています。



里山景観

現状の課題

- 【課題1】 多様な主体の参加により持続的に**花やみどりを守る**ことが必要です。利用者アンケートでは草花にどのような楽しみ方を求めているかに対して、「草花を鑑賞したい」や「草花を撮影したい」の割合が高くなっています。花やみどりを活用した施策や地域づくりが求められています。
- 【課題2】 花やみどりとの**ふれあいの機会**や人々の交流促進が必要です。利用者アンケートでは草花に対して鑑賞や撮影のほか、「草花や地場産品の商品を使いたい、食べたい」の割合も高く、自然とのふれあいや人々の交流促進のため、ファーマーズマーケット等の地域に根付いた取組を検討することが必要です。
- 【課題3】 魅力的な景観を将来にわたって保全するために**適切な森林管理**が必要です。近年、森林病虫害の被害により、樹木の枯れが多数確認されています。森林景観の悪化にもつながるため、樹木の間伐と育成のバランスが必要です。

(3) ブランディングの成果

西園の開園に向け2018年3月に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア管理運営方針」では、四季彩の杜のブランド・アイデンティティとして『「やくしの時間（とき）」の体感と暮らしの彩り』を提供していくと定めています。

また、エリア全体でのブランディングを進めるため、ブランドロゴを定め、ホームページを開設するなど、一体的なプロモーション活動を行ってきました。

その成果もあり、西園は2020年の開園以来、毎年50万人以上の方が訪れ、賑わいをみせています。また、ブランディングの展開は、西園の開園とともに本格的に実施し、「やくしの時間」を体感できる「やくしの学び」が人気など、一定の成果がみられます。

しかし、アンケート調査では「町田薬師池公園四季彩の杜」の名称に対する来訪者の認知度は低く、利用目的が個別施設のみの方もおり、施設間連携による相乗効果が効果的に発揮できていない状況にあります。



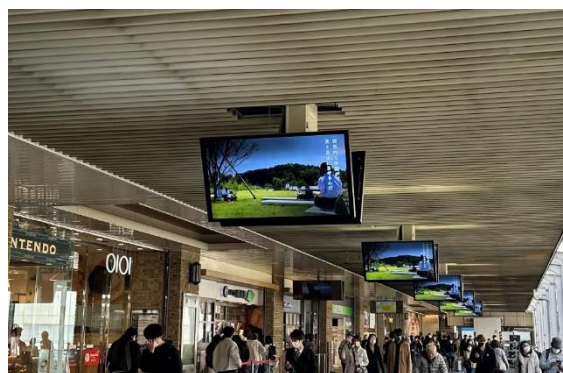
ブランド・アイデンティティ 「やくしの時間（とき）」の体感と 暮らしの彩り

「やくしの時間」とは、町田薬師池公園四季彩の杜に流れる時間・期間・季節・風景や独特の雰囲気・空気感を表しているものです。

この土地に流れる独特の「やくしの時間」をかえがたい魅力としてとらえ、特別な日だけではなく、普段でも立ち寄りたくなるような、暮らしの中の彩りとなる居場所を提供していきます。



四季彩の杜の動画配信



デジタルサイネージでのPR

(4) 環境の変化による新たなニーズ

本計画では、「(2) 前計画の方針ごとの成果」とは別に、前計画策定後の社会情勢の変化を捉えた環境の変化による新たなニーズとして下記の視点も加えます。

● 学びや体験へのニーズの高まり

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器が普及し、個人の体験がSNSなどで共有されるようになり、あらゆる体験が身近に感じられるようになりました。

消費行動は従前の「モノ」「コト」から、若い世代を中心に、今ここでしか体験できない、「トキ」を楽しむことに価値を見出すようになってきています。四季彩の杜でも西園の「ラボ・体験工房」で開催される様々なワークショップや講座「やくしの学び」が人気となっています。このことは新たな四季彩の杜の楽しみ方の可能性を広げています。

● 様々なライフスタイルに合わせた楽しみ方

コロナ禍を経験し、生活が一変したことにより、生き方そのものを見つめ直すきっかけになった人は多く、社会や地域とのつながり、健康の大切さを再認識した人が増えています。また、テレワークも急速に普及し、場所を選ばず仕事ができるようになりました。

暮らし方に変化が現れ、四季彩の杜に求められる価値が以前より多様化しています。

このエリア最大の魅力でもある豊富な樹林景観を一日かけて散策する人、「カフェ・レストラン」でテレワークを行う人、「ラボ・体験工房」のワークショップで地域交流を行う人など、様々なライフスタイルに合った四季彩の杜の魅力を提供する必要があります。

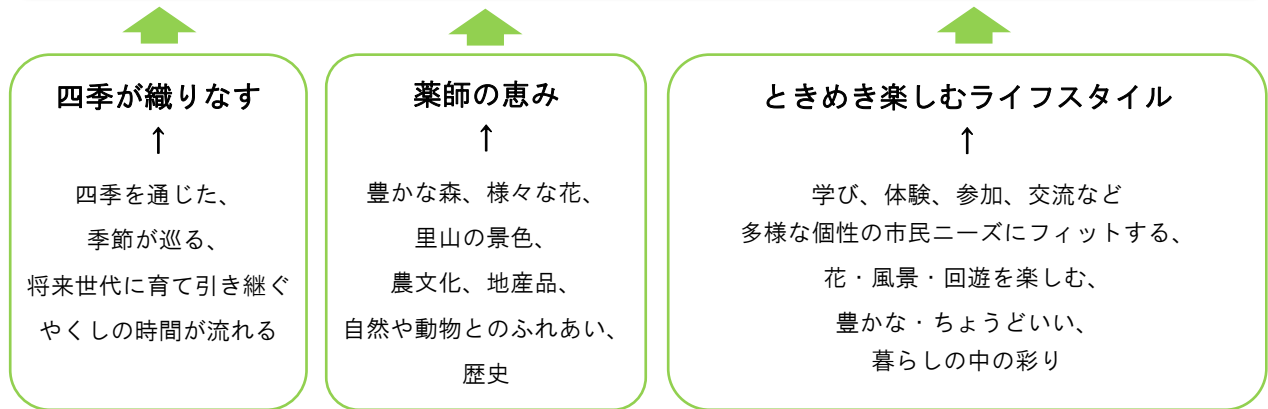
連日開催されるやくしの学び



にぎわうカフェ・レストラン

3 基本理念

四季が織りなす 薬師の恵みに ときめき楽しむライフスタイル



四季彩の杜は、四季折々の美しい花や豊かな樹木・農耕地の景観を有し、さらに町田市を代表する歴史施設が立地するなど多くの魅力やポテンシャルを内包するエリアです。

2014年6月「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」では、基本コンセプト『四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園』を定め、エリアの魅力を向上するべく様々な取組を展開してきました。また、2018年3月策定の「町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア管理運営方針」では、四季彩の杜のブランド・アイデンティティを『「やくしの時間（とき）」の体感と暮らしの彩り』と設定し、四季彩の杜に流れる独特の魅力を体感し、特別な日だけではなく、普段でも立ち寄りたくなるような、暮らしの中の彩りとなる居場所の提供を目指してきました。

2020年4月の西園開園は、散策や憩い、風景を楽しむといった、これまでの公園のあり方に変化をもたらしています。新たな公園の利用方法として学びや体験、交流の機会の場を提供するようになり、子どもから大人までが学習できるイベントでにぎわいが生まれています。

また、コロナ禍によるライフスタイルの変化は、野外活動や農作業、保養などの自然とのふれあいの需要を呼び起こし、本エリアの地域資源の存在意義をさらに高めています。今後も様々なライフスタイルにあった空間や体験を通して、来訪者それぞれが思い思いに楽しみ、心地よく感じられる四季彩の杜の魅力を提供していく必要があります。

前計画の基本コンセプトを継承し、何度でも訪れたいくなる「ときめき楽しむライフスタイル」の視点を加えた基本理念を定め、四季彩の杜の魅力向上を推進します。

この基本理念を体現したこれからの四季彩の杜をイメージできるように、次ページでは「これからの四季彩の杜で楽しむ四季折々のライフスタイル」をイラストで表しました。また、季節ごとの四季彩の杜での楽しみ方の一例として、P20からP27では四季の「資源とアクティビティ」を掲載しています。

これからの 四季彩の杜で楽しむ 四季折々のライフスタイル

四季彩の杜では、花、みどり、学び、体験、交流など、様々なライフスタイルに合った時間を提供します。

これからの四季彩の杜のイメージをイラストに表しました。



起伏のある地形が生み出す景色の変化を楽しみながら移動する



四季折々の草花を通して四季の移ろいを感じる



子どもたちが元気に遊べるフィールドがある



ハイキングの後に展望施設から遠くの景色を見渡す



地域の方と協力しながら次世代へよりよい環境をつなぐ



アクティビティや農産物の販売を通じ地域の人と交流する



地域に精通したガイドから歴史や自然の知識を学ぶ



自然を身近に感じながらいろいろな施設を巡る

四季彩の杜



自然の中でご飯を食べながら
ホッとするひと時を過ごす



小動物とふれあいにより
命の尊さや癒しを感じる



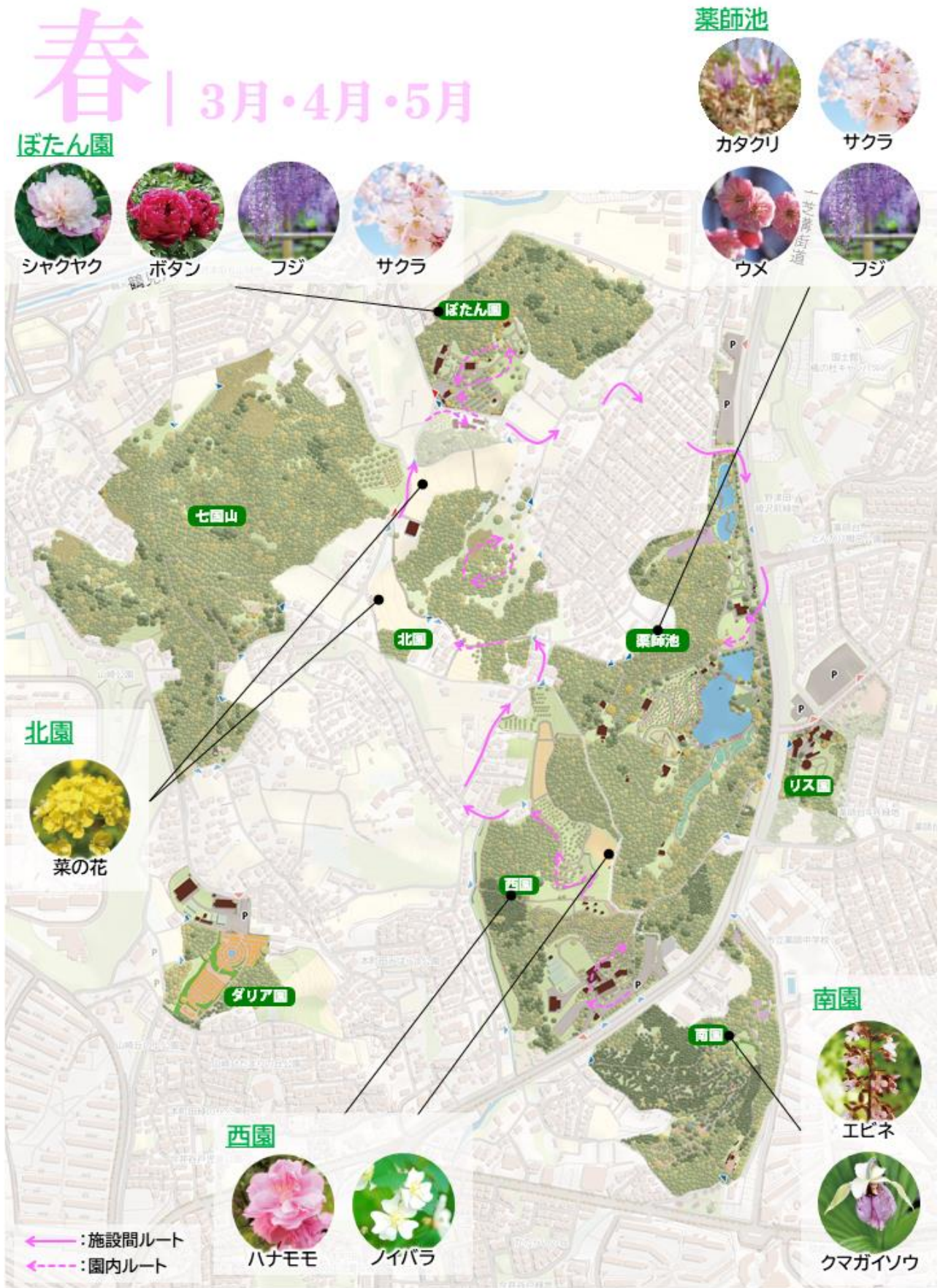
農体験を通じ
新鮮な農産物を収穫できる

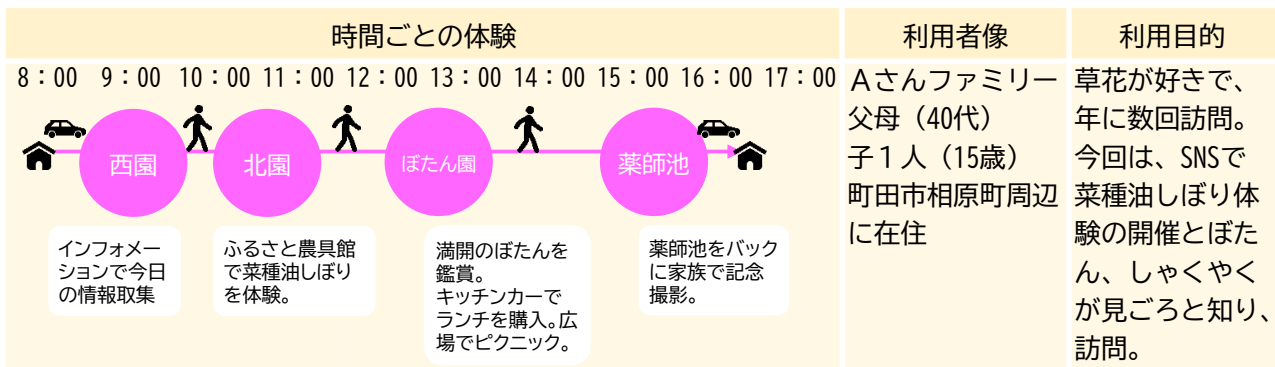


地域交流ができる
学び・体験の拠点がある

● 春の資源とアクティビティ

春 | 3月・4月・5月





インフォメーション



菜種油しぼり



キッチンカー

体験カレンダー		3月 ひな祭り	4月 お花見	5月 こどもの日
催事	春フェア（全施設）			
	梅まつり（薬師池）			
	ぼたん・しゃくやくまつり（ぼたん園）			
	えびね苑開苑（南園）			
	こどもの日のイベント（西園）			
学び	やくしの学び（西園から薬師池、北園、七国山へフィールドを拡大していく）	カルチャー・ワークショップ・プログラム、里山ガイドウォーク、ガーデニング教室、野菜づくり教室、草木染、花摘み、草花や歴史文化の勉強会など		
	小動物とのふれあい（リス園）	うさぎさんのお庭、巣箱づくりなど		
	菜種油しぼり（ふるさと農具館）	実演と販売		
	写真展示（フォトサロン）	春の薬師池撮影会など		
ライフスタイル	やくしLOCALファーマーズマーケット（西園）	地場製品の販売促進（採れたて春野菜の販売やミニトマトすくいなど）		
	健康プログラム（全エリア）	ノルディック・ウォーキング、里山散策、新緑の森林セラピーなど		
	農体験、調理体験、食体験（西園、薬師池、ぼたん園）	野菜づくり、収穫野菜の調理体験、四季折々の食体験、菜の花摘み取り体験、菜種絞り体験など		
	アウトドアプログラム（西園・北園）	グランピング、野外本棚など		
	農園・里山ボランティア（全エリア）	雑木林の育成や自然観察会など		
	球根販売（ダリア園）			
	緑豊かなまちづくり（全エリア）	ガーデニング、緑化活動など		

● 夏の資源とアクティビティ

夏 | 6月・7月・8月

薬師池



ハス



アジサイ



スイレン



花ショウブ

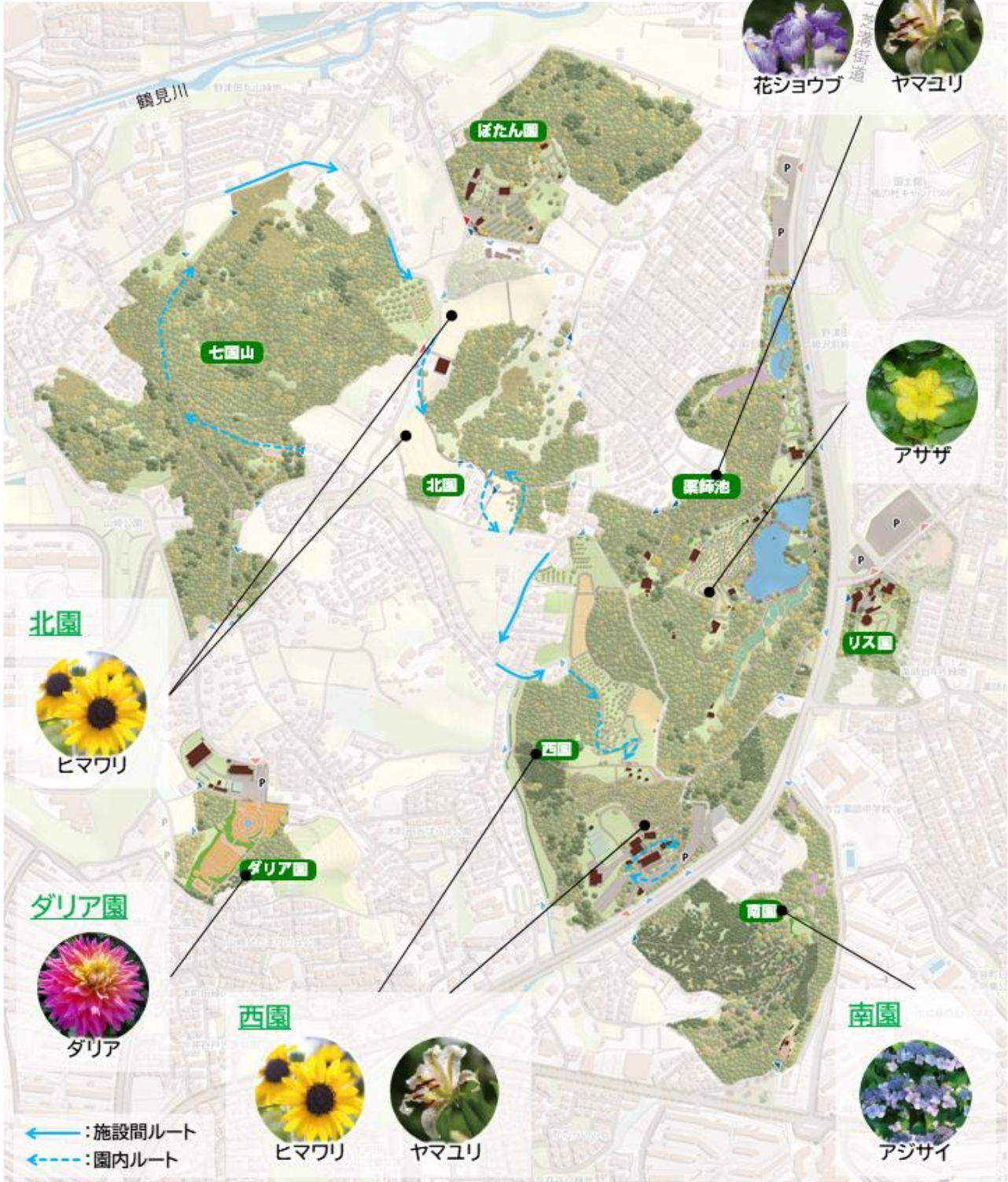


ヤマユリ



アサザ

リス園



北園



ヒマワリ

ダリア園



ダリア

西園



ヒマワリ

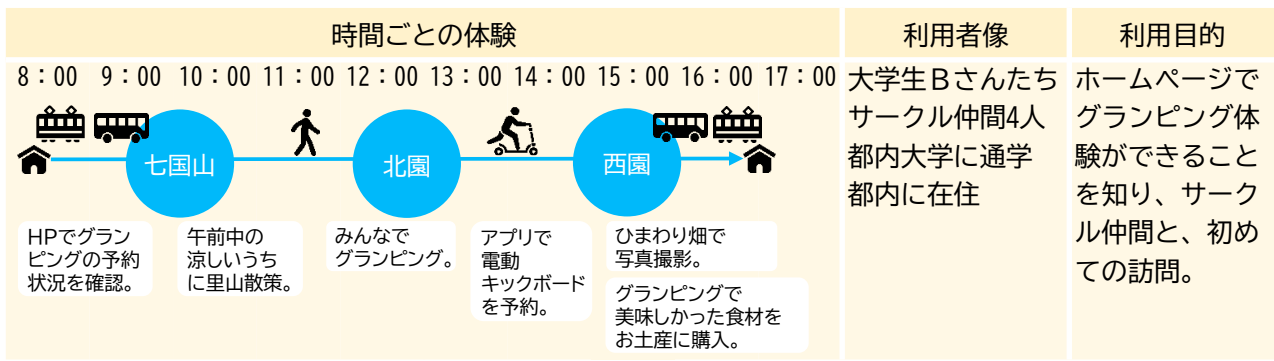


ヤマユリ

南園



アジサイ



里山散策



グランピング



ひまわり畑

体験カレンダー		6月 田植え	7月 七夕	8月 夕涼み
催事	しょうぶ・あじさいまつり (薬師池)	→		
	アジサイ特別開苑 (えびね苑)	→		
	観蓮会 (薬師池)	▷		
	オリジナルダリア名前募集(ダリア園)	→		
	こどもイベント (フォトサロン)	→		
	ブルーベリー狩り (ダリア園)	→		
学び	やくしの学び (西園から薬師池、北園、七国山へフィールドを 拡大していく)	→		
	小動物とのふれあい (リス園)	→		
	まちだ観光案内人による園内ガイ ドウォークツアー (薬師池・南園)	→		
	菜種油しぼり (ふるさと農具館)	→		
	ガイドツアー (ダリア園)	→		
	写真展示 (フォトサロン)	→		
ライフスタイル	やくしLOCALファーマーズ マーケット (西園)	→		
	健康プログラム (全エリア)	→		
	農体験、調理体験、食体験 (西園、薬師池、ぼたん園)	→		
	アウトドアプログラム (西園・北園)	→		
	農園・里山ボランティア(全エリア)	→		
	緑豊かなまちづくり(全エリア)	→		

● 秋の資源とアクティビティ

秋 | 9月・10月・11月

薬師池



イチヨウ



モミジ



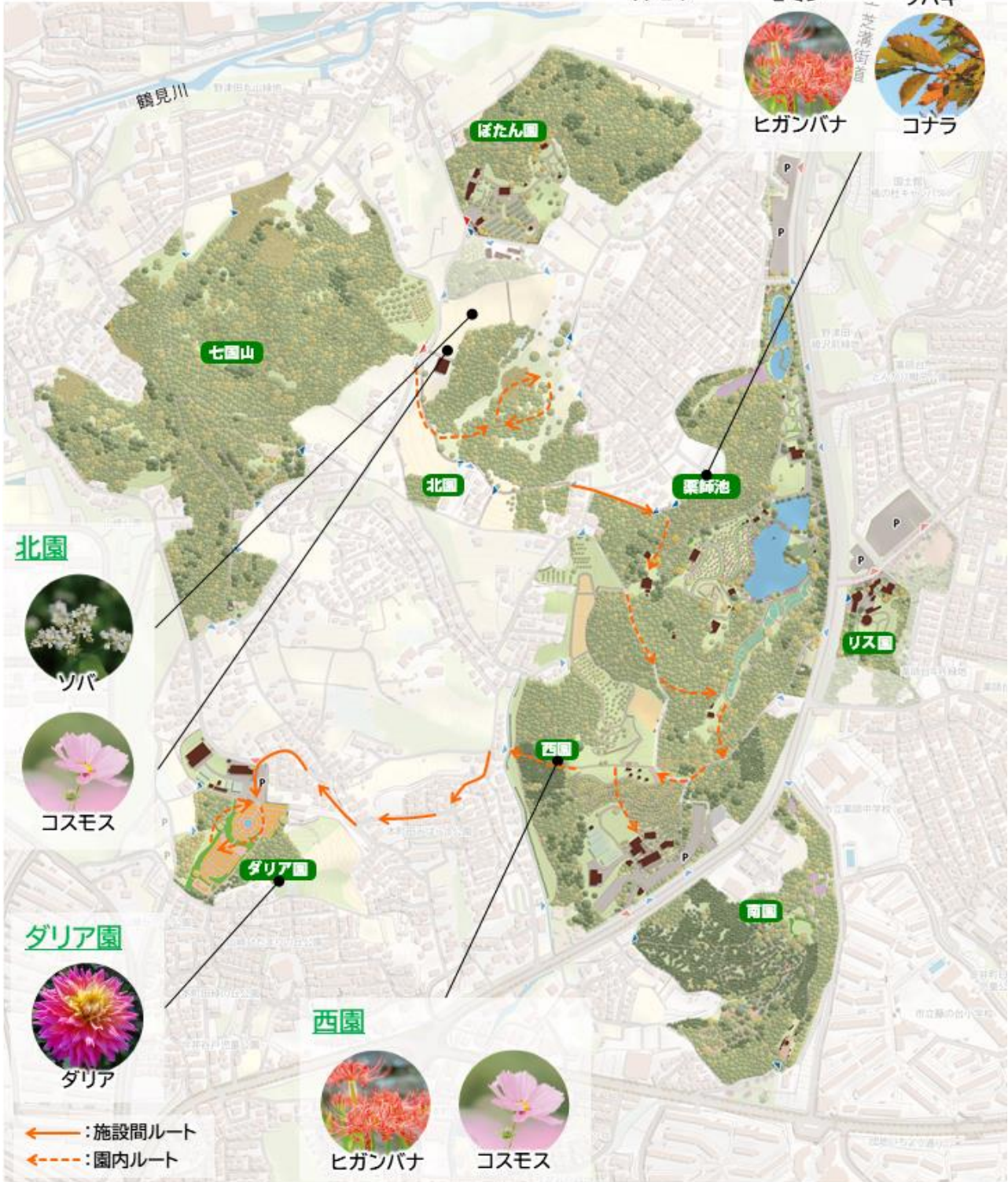
ツバキ



ヒガンバナ



コナラ



北園



ソバ



コスモス

ダリア園



ダリア

西園



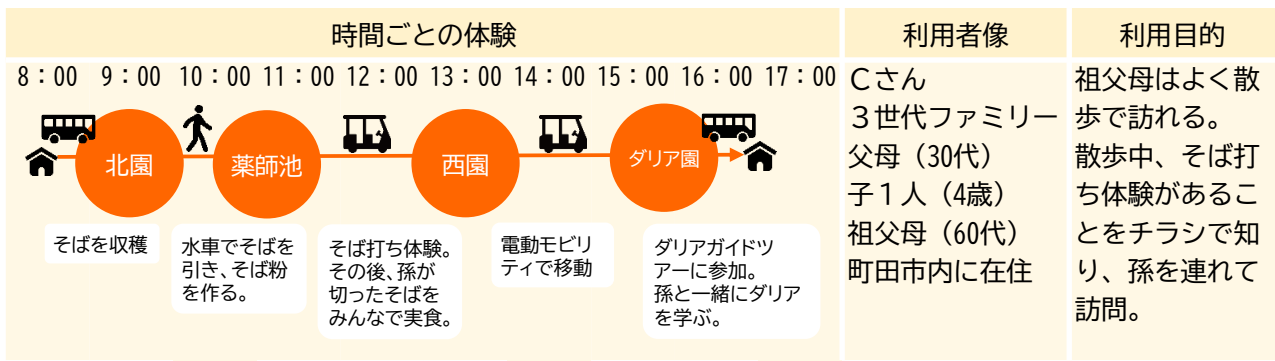
ヒガンバナ



コスモス

← 施設間ルート

← 園内ルート



そば畑



水車



ダリア

体験カレンダー		9月 お月見	10月 スポーツの日	11月 収穫祭
催事	かがやきまつり（ダリア園）			
	秋遊び（全施設）			
	ナイトシネマ（西園）			
	紅葉まつり（薬師池）			
	秋の行楽イベント（西園）			
	ダリア撮影会（ダリア園）			
学び	やくしの学び （西園から薬師池、北園、七国山へフィールドを拡大していく）			
	小動物とのふれあい（リス園）			
	まちだ観光案内人による園内ガイドウォークツアー（薬師池）			
	菜種油しぼり（ふるさと農具館）			
	ガイドツアー（ダリア園）			
	写真展示（フォトサロン）			
ライフスタイル	やくしLOCALファーマーズマーケット（西園）			
	健康プログラム（全エリア）			
	農体験、調理体験、食体験（西園、薬師池、ほたん園）			
	アウトドアプログラム（西園・北園）			
	農園・里山ボランティア（全エリア）			
	切花・ハボタン販売（ダリア園）			
	緑豊かなまちづくり（全エリア）			

● 冬の資源とアクティビティ

冬

| 12月・1月・2月

薬師池



モミジ



ロウバイ



ツバキ



カンヒザクラ



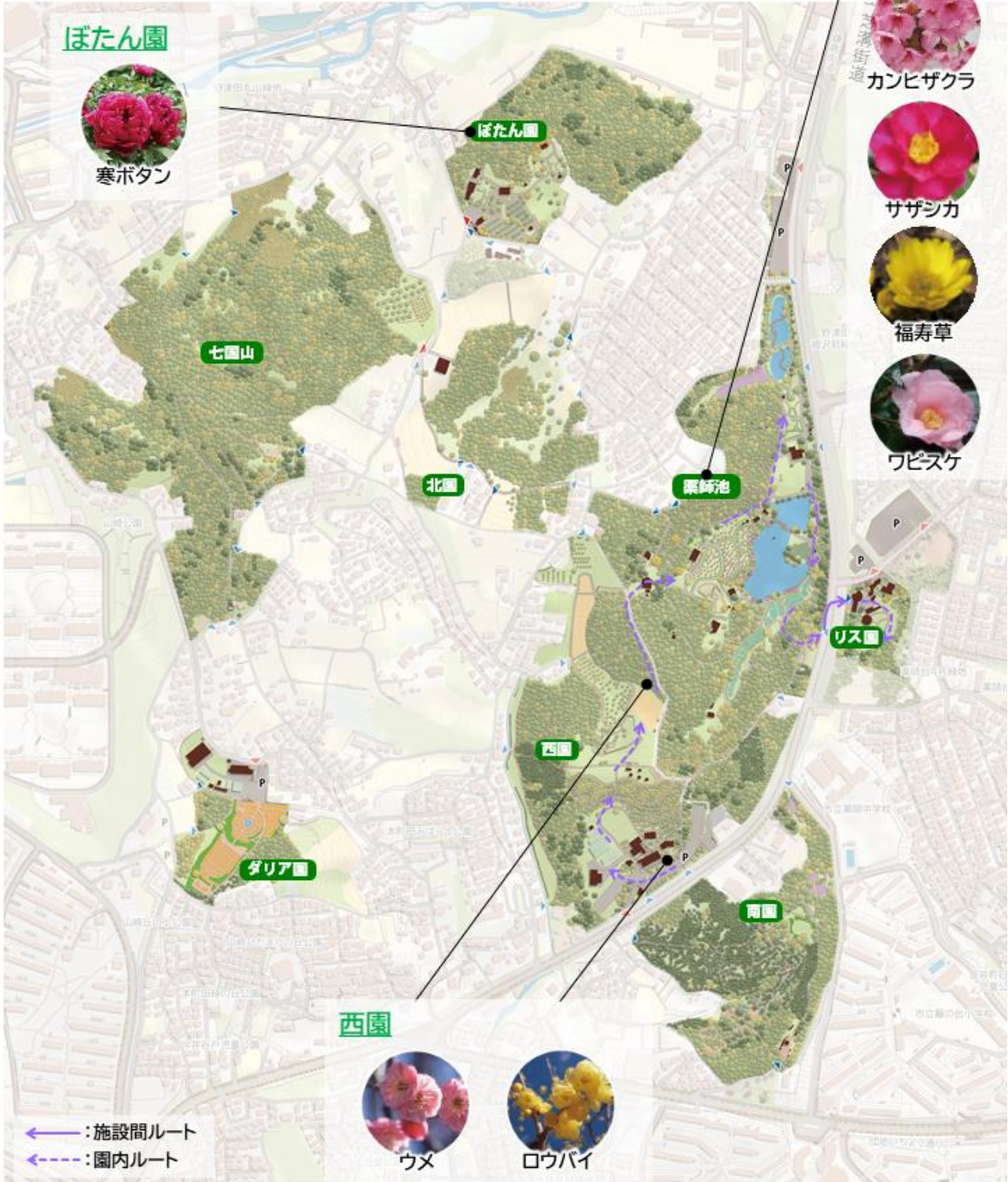
サザシカ



福寿草



ワビスケ



← 施設間ルート

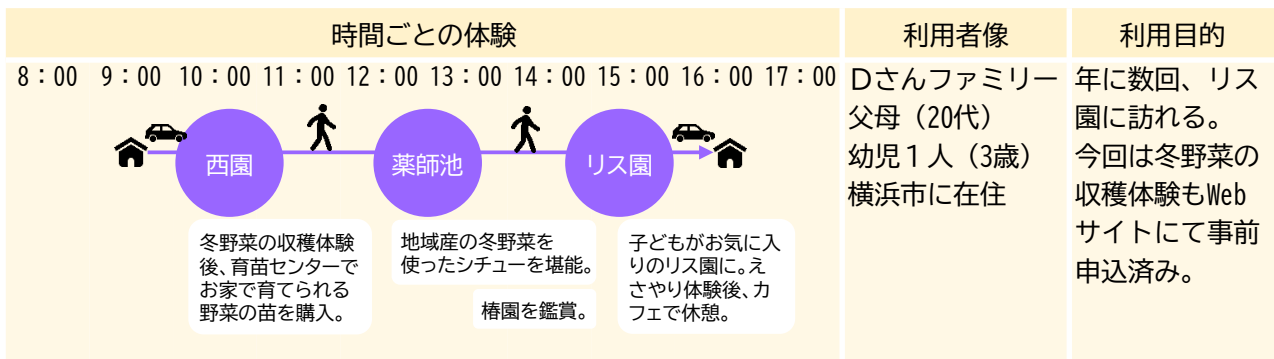
← 園内ルート



ウメ



ロウバイ



収穫体験



地域産冬野菜を使ったメニュー



えさやり体験

体験カレンダー		12月 歳の市	1月 正月	2月 節分
催事	キャンドルナイト（西園）	▶		
	松の雪つり（薬師池）	▶		
	梅まつり（薬師池）			▶
学び	やくしの学び （西園から薬師池、北園、七国山へフィールドを拡大していく）	▶ カルチャー・ワークショップ・プログラム、里山ガイドウォーク、ガーデニング教室、野菜づくり教室、草木染、花摘み、草花や歴史文化の勉強会など		
	小動物とのふれあい（リス園）	▶ うさぎさんのお庭、巣箱づくりなど		
	菜種油しぼり（ふるさと農具館）	▶ 実演と販売		
	写真展示（フォトサロン）	▶ ツバキ展など		
ライフスタイル	やくしLOCALファーマーズマーケット（西園）	▶ 地場製品の販売促進（クリスマスマーケットなど）		
	健康プログラム（全エリア）	▶ ノルディック・ウォーキング、里山散策、椿園ガイドツアーなど		
	農体験、調理体験、食体験 （西園、薬師池、ぼたん園）	▶ 野菜づくり、収穫野菜の調理体験、四季折々の食体験、根菜収穫体験、収穫物による防災キャンプイベントなど		
	農園・里山ボランティア（全エリア）	▶ 雑木林の育成や自然観察会など		
	切花・ハボタン販売（ダリア園）	▶		
緑豊かなまちづくり（全エリア）	▶ ガーデニング、緑化活動など			